

心臓血管外科学

A 欧 文

A-a

1. Hazama S, Sakamoto I, Yamachika S, Ariyoshi T, Takai H, Eishi K: Endovascular surgery using an original occluder for patent ductus arteriosus in an adult patient. *Jpn J Thorac Cardiovasc Surg* 53(1): 58-61, 2005
2. Takai H, Eishi K, Yamachika S, Hazama S, Ariyoshi T, Nishi K: Demonstration and operative influence of low prime volume closed pump. *Asian Cardiovasc Thorac Ann* 13(1): 65-69, 2005 ○
3. Yamaguchi H, Eishi K, Yamachika S, Tanigawa K, Izumi K, Matsukuma S: Combined aortic and mitral valve repair in active infective endocarditis. *Jpn J Thorac Cardiovasc Surg* 53(7): 372-376, 2005
4. Matsukuma S, Eishi K, Yamachika S, Yamaguchi H, Ariyoshi T, Hisata Y, Tanigawa K, Izumi K, Takai H: Risk factors of posterior pericardial annuloplasty for isolated posterior leaflet prolapse. *Ann Thorac Surg* 80(3): 820-824, 2005 *
5. Matsukuma S, Eishi K, Yamachika S, Hayashi T, Hazama S, Yamaguchi H, Ariyoshi T, Takai H, Odate T, Onohara D, Yanatori M: Saccular aneurysm of the aortic cusp associated with discrete subaortic stenosis. (short communication) *Ann Thorac Surg* 80(6): 2364-2365, 2005 *
6. Matsukuma S, Eishi K, Hayashi T, Yamachika S, Hazama S, Ariyoshi T, Takai H, Odate T, Onohara D, Yanatori M: Partial left ventriculectomy for end-stage cardiomyopathy: Report of a case. *Ann Thorac Cardiovasc Surg* 10(5): 307-310, 2004

A-c

1. Takai H, Kobayashi J, Tagusari O, Bando Ko, Niwaya K, Nakajima H, Yagihara T: Off-pump coronary artery bypass grafting for acute myocardial infarction. ISMICS (International Society for Minimally Invasive Cardiothorac Surgery 2005 Annual Scientific Meeting) Program Book, pp. 308, 2005

B 邦 文

B-a

1. 迫 史朗, 坂本一郎, 山近史郎, 野口 学, 有吉毅子男, 高井秀明, 尾立朋大, 松隈誠司, 江石清行: 孤立性腸骨動脈瘤に対する血管内治療. *日本血管外科学会雑誌* 14(2): 73-78, 2005
2. 迫 史朗, 江石清行, 野口 学, 有吉毅子男, 高井秀明, 尾立朋大, 松隈誠司: 内胸動脈使用冠動脈バイパス術後大動脈弁置換術の低侵襲化の工夫 内胸動脈グラフト balloon閉塞法の有用性. *日本心臓血管外科学会雑誌* 34(1): 67-69, 2005
3. 本村秀樹, 手島秀剛, 吉永宗義, 濱脇正好, 宮副初司, 森内浩幸, 江石清行: (症例報告)運動時の胸痛を契機に見つかった左冠動脈口閉鎖症の1例. *日本小児循環器学会雑誌* 21(4): 20-24, 2005

B-b

1. 尾立朋大, 山近史郎, 山口博一郎, 有吉毅子男, 高井秀明, 松隈誠司, 小野原大介, 江石清行: 狭小弁輪用人工弁を用いた大動脈弁置換術後における機械弁と生体弁の血行動態の比較. *日本心臓血管外科学会雑誌* 34(Suppl): 301, 2005
2. 有吉毅子男, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 迫 史朗, 松隈誠司, 尾立朋大, 小野原大介: 慢性腎機能低下症例と心臓手術: 周術期・遠隔期成績とrisk factorの検討. *日本心臓血管外科学会雑誌* 34(Suppl): 330, 2005
3. 小野原大介, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 久田洋一, 谷川和好, 泉 賢太, 松隈誠司, 松丸一朗: 弓部大動脈置換術の治療成績—選択的脳灌流群と超低体温循環停止群との比較検討—. *日本心臓血管外科学会雑誌* 34(Suppl): 353, 2005
4. 高井秀明, 小林順二郎, 田鎖 治, 坂東 興, 庭屋和夫, 中嶋博之, 中谷武嗣, 八木原俊克, 北村惣一郎: 急性心筋梗塞での心原性ショックの人工心肺非使用冠動脈冠動脈バイパス術治療成績への影響. *日本心臓血管外科学会雑誌* 34(Suppl): 378, 2005
5. 泉 賢太, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 久田洋一, 高井秀明, 谷川和好, 松隈誠司, 小野原大介, 松丸一朗: 改良型PCPSを用いた完全心停止下冠動脈バイパス術の検討. *日本心臓血管外科学会雑誌* 34(Suppl): 379, 2005
6. 松隈誠司, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 久田洋一, 泉 賢太, 谷川和好, 小野原大介, 松丸一朗: 僧帽弁後尖単独逸脱に対する自己心膜後尖弁輪形成の効果検討. *日本心臓血管外科学会雑誌* 34(Suppl): 433, 2005
7. 多田誠一, 築取 誠, 泉 賢太, 有吉毅子男, 山田卓史: 開心術後心嚢ドレーン性状分析による術後出血・心嚢貯留への影響因子の検討. *日本心臓血管外科学会雑誌* 34(Suppl): 497, 2005

8. 谷川和好, 柴田隆一郎, 谷口真一郎, 中路 俊, 坂本一郎, 平尾幸一, 堀上謙作: 尺骨動脈瘤に対してステント留置術を施行した一例. 日本血管外科学会雑誌 14(3): 339, 2005
9. 多田誠一, 築取 誠, 山田卓史: Hybrid PTFE tapered graftによる大腿-膝窩動脈バイパスの検討. 日本血管外科学会雑誌 14(3): 347, 2005
10. 南 貴子, 河野浩章, 河野靖子, 瀬戸信二, 矢野捷介, 山近史郎, 江石清行: 僧帽弁閉鎖不全症における腱索断裂の術前診断. 日本心臓病学会雑誌 46(Suppl): 486, 2005
11. 山口博一郎, 江石清行, 山近史郎, 久田洋一, 泉 賢太, 谷川和好, 松隈誠司, 小野原大介, 松丸一朗: 弁形成術のPitfallと中期, 遠隔期成績—交連部病変に対する形成術の検討—. 日本胸部外科学会雑誌 53(Suppl): 241, 2005
12. 松隈誠司, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 久田洋一, 谷川和好, 泉 賢太, 小野原大介, 松丸一朗: Mini-pumpは冠動脈バイパス術後心房細動を減らす. 日本胸部外科学会雑誌 53(Suppl): 440, 2005
13. 谷川和好, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 久田洋一, 泉 賢太, 高井秀明, 小野原大介, 松丸一朗: 75歳以上の高齢者僧帽弁手術のリスクファクターは何か? 日本胸部外科学会雑誌 53(Suppl): 505, 2005
14. 松丸一朗, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 久田洋一, 谷川和好, 泉 賢太, 松隈誠司, 小野原大介: 僧帽弁位感染性心内膜炎に対する治療戦略—弁形成術と弁置換術の比較検討—. 日本胸部外科学会雑誌 53(Suppl): 506, 2005
15. 小野原大介, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 久田洋一, 谷川和好, 泉 賢太, 松隈誠司, 松丸一朗: 巨大心房に対する縫縮術の検討. 日本胸部外科学会雑誌 53(Suppl): 516, 2005
16. 高井秀明, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 久田洋一, 泉 賢太, 谷川和好, 松丸一朗, 小野原大介: Mini pumpを使用した心停止下冠動脈バイパス術121例の経験. 日本冠疾患学会雑誌 11(4): 296, 2005.

B-c

1. 迫 史朗, 江石清行: 弁膜症外科の基本手技のKnack & Pitfalls総論. (驥本真一(監), 四津良平(編): 心臓外科 Knack & Pitfalls 弁膜症外科の要点と盲点, 文光堂, 東京, pp. 82-94所収)2005
2. 山口博一郎, 江石清行: 感染性心内膜炎による僧帽弁逆流に対する弁形成術. (新井達太(編): 心臓外科, 医学書院, 東京, pp. 409-416所収)2005
3. 山近史郎: 心房中隔欠損症に合併した僧帽弁逆流の特徴. (中谷 敏, 別府慎太郎(編): 心臓病診療プラクティス シリーズ1 心エコー図を診る, 文光堂, 東京, pp. 88-89 所収)2005.
4. 武田純三(監訳), 山近史郎, 山田達也, 石黒芳紀, 岩出宗代, 岩永史郎, 岡本浩嗣, 金 信秀, 渡橋和政(訳): 周術期経食道心エコー実践法. 真興交易医書出版部, 東京, 2005 【原著 Perrino ACJr, Reeves ST: A Practical Approach to Transesophageal Echocardiography. Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2003】
5. 江石清行: 弁形成術のPitfall—根治性の高い僧帽弁形成術を行うために—. (日本胸部外科学会卒後教育委員会: 胸部外科および境界疾患の最新治療—risk managementに配慮して—, 日本外科学会, 東京, pp. 128-134 所収)2005
6. 山口博一郎, 江石清行, 山近史郎, 久田洋一, 谷川和好, 高井秀明, 泉 賢太, 松丸一朗, 小野原大介: Total arterial graftによるCABGの検討. 第10回日本冠動脈外科学会講演抄録集, p. 124, 2005

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2005	6	0	1	0	7	2	3	16	6	0	25	32

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2005	0	0	2	0	0	5	33	38	40

原著論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文数	教員生産係数 (SCI掲載論文)
	論文総数		欧文論文総数	
2005	0.219	1.75	0.286	0.5

Impact factor値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2005	4.458	1.115	2.229